

システム過負荷が原因のISE TACACS+認証失敗のトラブルシューティング

内容

お問い合わせ内容

Cisco Identity Services Engine(ISE)Terminal Access Controller Access-Control System Plus(TACACS+)認証が断続的に停止し、ネットワークデバイスのログインがTACACS+認証ではなくローカルユーザにフォールバックする原因になります。停止時に、「TACACS+要求はシステム過負荷のためドロップされました」という障害理由がライブログに表示されます。認証の失敗は、TACACS+のISEに対する設定変更が行われずに、またはTACACS+の設定に関するネットワークデバイスで発生します。

環境

- Cisco Identity Services Engine(ISE)バージョン3.3パッチ7
- デバイス管理用の特定のPSNを使用した分散型ISEの導入
- 管理アクセスのためのTACACS+認証サービス
- Transmission Control Protocol (TCP ; 伝送制御プロトコル) Syslogターゲットの設定

解決策

問題発生時にポリシーサービスノード(PSN)でランタイムAAAデバッグを有効にし、prtt-server.logを確認すると、PSNでの処理がバックアップされていることを示す非常に高いContextN値が明らかになります。

AcLoggerReactorThreadとTCPSyslogReactorThreadは、上昇し、バックアップを引き起こすスレッドプールです。

```
EventHandler,2026-05-05 12:17:10,461,DEBUG,0x7f42bead0700,Passed event to the next thread pool name=AcLoggerReactorThread
EventHandler,2026-05-05 12:17:12,859,DEBUG,0x7f429b6d0700,Passed event to the next thread pool name=TCPSyslogReactorThread
```

スペースの制限に当たるため、TACACS+接続はドロップされます。

```
TCPListener,2026-05-05 12:17:08,804,DEBUG,0x7f429b4cf700,NIL-CONTEXT,Hit space limit. Dropping request!
```

設定で「Buffer Messages When Server Down」が有効になっている場合、Administration > System > Logging > Remote Logging Targetsで有効になっているTCP Syslogターゲットは、[Cisco不具合CSCwt35414](#)が原因で、長期に渡り到達不能になることはありません。到達可能性が保証できない場合は、ISEの修正済みバージョンをインストールするか、この動作を防ぐためにTCP syslogターゲットで「Buffer Messages When Server Down」機能の選択を解除する必要があります。

原因

根本原因は、[Cisco不具合CSCwt35414](#)として特定されています。この不具合により、TCP Syslogターゲットに設定されているバッファがいっぱいになると、PSNでの認証処理がブロックされます。TCP Syslogターゲットが到達不能であるか、または再応答後に送信不能になると、ログはバッファに書き込まれますが、PSNのトラフィックが多く、ターゲットが長期間到達不能な場合は、バッファがいっぱいになり、認証処理に影響します。

関連コンテンツ

- [Cisco不具合CSCwt35414](#)
- [リモートログターゲットの設定](#)

翻訳について

シスコは世界中のユーザにそれぞれの言語でサポート コンテンツを提供するために、機械と人による翻訳を組み合わせて、本ドキュメントを翻訳しています。ただし、最高度の機械翻訳であっても、専門家による翻訳のような正確性は確保されません。シスコは、これら翻訳の正確性について法的責任を負いません。原典である英語版（リンクからアクセス可能）もあわせて参照することを推奨します。